

平成 29 年 9 月 12 日

各位

社 名 みらかホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 竹内 成和
コード番号 4 5 4 4 東証第 1 部
問合せ先 IR 広報部
電話番号 0 3 - 5 9 0 9 - 3 3 3 7

コンパニオン・ダイアグノスティックスを目的とした提携のお知らせ

当社の臨床検査薬事業における米国子会社である Fujirebio Diagnostics, Inc. (以下「FDI」) が、Morphotek, Inc. (以下「Morphotek」) との間で、治験薬 farletuzumab (フォルレツズマブ、一般名) に対するコンパニオン診断薬の開発・製造・販売を目的としたライセンス契約を締結しましたので、お知らせします。

治験薬 farletuzumab は、プラチナ製剤に感受性のある卵巣がん患者を対象とした第 III 相臨床試験の結果、CA125 が一定レベル以下のサブグループにおいて無増悪生存期間 (PFS) および全生存期間 (OS) の延長が認められています。この度のライセンス契約により、富士レビオ・ホールディングス株式会社の「ルミパルス® CA125 II」を治験薬 farletuzumab のコンパニオン診断薬として評価し、製造・販売することが可能になります。

CA125 は主に卵巣がんの発見、治療効果の判定やモニタリング目的に医療の現場で既に広く使用されています。この度、治験薬 farletuzumab のコンパニオン診断薬としての有効性を評価することにより、既存の臨床検査薬の用途を広げ、より効率的な医療の提供に貢献できるものと期待しております。

以上